



2012年「タイヤ点検結果」の報告

一般社団法人日本自動車タイヤ協会（会長 津谷 正明）は、都道府県警察、運輸支局、東日本・中日本・西日本の各高速道路株式会社（旧 JH）、自動車及びタイヤ関連団体と協力し、2012年（1月～12月）に全国で41回の路上タイヤ点検を実施し、このほどその結果をまとめましたので、ここに発表いたします。

【タイヤ点検結果の概要】

タイヤ点検を行った車両は、高速道路（含、自動車専用道路）882台、一般道路865台の合計1,747台で、これらの車両のタイヤ整備状況は次の通りです。

なお、本タイヤ点検結果の概要及び2011年対比は、別表1～3に示しました。

1. タイヤ点検の概要（表-1）

タイヤ点検の結果、表-1の通り、点検車両1,747台のうち、タイヤに整備不良があった車両は623台、不良率35.7%となっており、2011年点検結果に比べ8.0ポイントの増加となっています。尚、道路別にみると、高速道路のタイヤ整備不良率は33.3%で8.4ポイントの増加、一般道路では38.0%で7.9ポイントの増加という結果となっています。

表-1 タイヤ点検の概要

項目	年			参考（2011年）		
	高速道路	一般道路	合計	高速道路	一般道路	合計
点検回数（回）	19	22	41	17	17	34
点検車両A（台）	882	865	1,747	796	958	1,754
タイヤ整備不良車両B（台）	294	329	623	198	288	486
不良率B/A（%）	33.3	38.0	35.7	24.9	30.1	27.7
対前年増減	8.4	7.9	8.0			

2. 道路別・タイヤ整備不良項目の内訳（表-2）

タイヤの整備状況を項目別にみると表-2の通り、不良率1位は「空気圧不適正」で26.2%、次いで「偏摩耗」5.9%「タイヤ溝不足」1.8%の順となっています。

不良率を2011年の結果と比較すると、「タイヤ溝不足」は1.2ポイント減少しているものの、「空気圧不適正」が6.5ポイント、「偏摩耗」2.0ポイント、「外傷」0.3ポイント、「釘異物踏み」0.1ポイントそれぞれ増加しています。

また、道路別でみた不良率を2011年の結果と比較すると、高速道路では「空気圧不適正」9.1ポイントの増加、「タイヤ溝不足」2.3ポイント減少等が見られます。一方、一般道路では「空気圧不適正」5.2ポイント、「偏摩耗」3.1ポイント増加等が見られます。

表-2 道路別・タイヤ整備不良項目の内訳

年 区分 項目	2012年						対2011年増減		
	高速道路		一般道路		合 計		高速道路	一般道路	合 計
	件数	%	件数	%	件数	%			
タイヤ溝不足	13	1.5	18	2.1	31	1.8	-2.3	-0.3	-1.2
偏摩耗	52	5.9	51	5.9	103	5.9	0.7	3.1	2.0
外 傷	4	0.5	4	0.5	8	0.5	0.1	0.4	0.3
釘・異物踏み	4	0.5	3	0.3	7	0.4	0.2	-0.1	0.1
空気圧不適正	190	21.5	268	31.0	458	26.2	9.1	5.2	6.5
そ の 他	53	6.0	86	9.9	139	8.0	0.5	6.0	3.4
計	316	—	430	—	746	—	—	—	—

注) 1. 1台の車両で複数のタイヤ整備不良(項目)がある場合がある為、タイヤ整備不良車両台数とタイヤ整備不良件数は必ずしも一致しない。

注) 2. 「空気圧不適正」の件数は、空気圧不足と空気圧過多の合計である。

(内訳 空気圧不足: 375件 空気圧過多: 83件)

注) 3. 空気圧測定方法は、目視検査とエアゲージによる実測の両方。また、タイヤの状態としては、ホットエアを含む。

3. 車種別・タイヤ整備不良台数の内訳(表-3)

タイヤの整備状況を車両グループ別に見ると、表-3の通り「乗用車」の40.4%(11年結果に比べ11.6ポイント増加)、「貨物車」20.2%(同、3.4ポイント減少)となっております。

「特種車」を含めた全体では、2011年の結果に比べ8.0ポイント増加となっております。

グループ別の整備状況としては、「乗用車グループ」で、普通乗合(2)以外で増加、また「貨物車グループ」では、軽(4.6)が増加となっております。

表-3 車種別・タイヤ整備不良台数の内訳

車 種		点検車両(台)	不良車両(台)	不良率(%)	対2011年増減
乗 用 車	普通乗合(2)	45	8	17.8	-0.1
	普通乗用(3)	388	145	37.4	11.9
	小型乗用(5.7)	674	270	40.1	9.8
	軽(5.7)	242	122	50.4	20.3
	小 計	1,349	545	40.4	11.6
貨 物 車	普通貨物(1)	170	36	21.2	-8.1
	小型貨物(4)	141	20	14.2	-5.9
	軽(4.6)	45	16	35.6	14.7
	小 計	356	72	20.2	-3.4
特種(8)		42	6	14.3	-7.3
合 計		1,747	623	35.7	8.0

注) ()内数字は、車種ナンバーを示す。

4. 車種別・タイヤ整備不良項目の内訳（表-4）

車両グループ別・項目別ワースト1位は表-4の通り、乗用車「空気圧不適正」32.2%、貨物車「偏摩耗」6.7%となっています。

表-4 車種別・タイヤ整備不良項目の内訳

車種	項目	タイヤ溝不足		偏摩耗		外 傷		釘・異物踏み		空気圧不適正		そ の 他		合計
		件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	
乗用車	普通乗合(2)	2	4.4	6	13.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	8
	普通乗用(3)	2	0.5	17	4.4	3	0.8	1	0.3	111	28.6	30	7.7	164
	小型乗用(5.7)	7	1.0	31	4.6	1	0.1	4	0.6	226	33.5	57	8.5	326
	軽(5.7)	2	0.8	22	9.1	0	0.0	0	0.0	98	40.5	37	15.3	159
	小 計	13	1.0	76	5.6	4	0.3	5	0.4	435	32.2	124	9.2	657
貨物車	普通貨物(1)	14	8.2	15	8.8	3	1.8	1	0.6	0	0.0	6	3.5	39
	小型貨物(4)	2	1.4	8	5.7	1	0.7	1	0.7	7	5.0	2	1.4	21
	軽(4.6)	0	0.0	1	2.2	0	0.0	0	0.0	15	33.3	6	13.3	22
	小 計	16	4.5	24	6.7	4	1.1	2	0.6	22	6.2	14	3.9	82
	特種(8)	2	4.8	3	7.1	0	0	0	0	1	2.4	1	2.4	7
	合 計	31	1.8	103	5.9	8	0.5	7	0.4	458	26.2	139	8.0	746

- 注) 1. 1台の車両で複数のタイヤ整備不良（項目）がある場合がある為、タイヤ整備不良台数とタイヤ整備不良件数は必ずしも一致しない。
- 注) 2. 「空気圧不適正」の件数は、空気圧不足と空気圧過多の合計である。
（内訳 空気圧不足：375件 空気圧過多：83件）
- 注) 3. 空気圧測定方法は、目視検査とエアゲージによる実測の両方。また、タイヤの状態としては、ホットエアを含む。

【まとめ】

今回の結果をみると、「空気圧不適正」が2011年結果に比べ6.5ポイント増加し、整備不良率でワースト1位（26.2%）となっています。

また、「タイヤ溝不足」は、減少しています。

当会では今後も引き続き「4月8日タイヤの日」をはじめとした、年間を通してのタイヤ点検実施に加え、タイヤ使用管理リーフレット配布等の安全啓発活動を展開していくこととしています。

本件に関するお問い合わせ先
技術環境部 : 柴田
電話 03-3435-9092

1. 2012年（1-12月）路上タイヤ点検結果

一般社団法人 日本自動車タイヤ協会

点検項目		年別		2011年						2012年																					
		道路別		高速道路		一般道路		計		高速道路		一般道路		計																	
										対前年増減		対前年増減		対前年増減																	
点検回数（回）				17		17		34		19		2		22		5		41		7											
点検車両A（台）				796		958		1,754		882		86		865		-93		1,747		-7											
タイヤ整備不良車両B（台）				198		288		486		294		96		329		41		623		137											
不良率B/A（%）				24.9		30.1		27.7		33.3		8.4		38.0		7.9		35.7		8.0											
件数・不良率		件数		不良率		件数		不良率		件数		不良率		件数		不良率		件数		不良率											
												%	増減			%	増減			%	増減										
タイヤ整備不良の内訳	タイヤ溝不足	30		3.8		23		2.4		53		3.0		13		1.5		-2.3		18		2.1		-0.3		31		1.8		-1.2	
	偏摩耗	41		5.2		27		2.8		68		3.9		52		5.9		0.7		51		5.9		3.1		103		5.9		2.0	
	外傷（コードに達するもの）	3		0.4		1		0.1		4		0.2		4		0.5		0.1		4		0.5		0.4		8		0.5		0.3	
	釘・異物踏み	2		0.3		4		0.4		6		0.3		4		0.5		0.2		3		0.3		-0.1		7		0.4		0.1	
	空気圧不適正	99		12.4		247		25.8		346		19.7		190		21.5		9.1		268		31.0		5.2		458		26.2		6.5	
	その他	44		5.5		37		3.9		81		4.6		53		6.0		0.5		86		9.9		6.0		139		8.0		3.4	
	計	219		-		339		-		558		-		316		-		-		430		-		-		746		-		-	

- 注) 1. 1台の車両で複数のタイヤ整備不良（項目）がある場合があり、タイヤ整備不良車両台数とタイヤ整備不良件数は必ずしも一致しない。
2. 不良率：「タイヤ整備不良車両台数又は不良項目件数」/「点検車両台数」×100
3. 高速道路とは自動車専用道路を含む。
4. 「空気圧不適正」の件数は、空気圧不足と空気圧過多の合計である。（内訳 空気圧不足：375件 空気圧過多：83件）
5. 空気圧測定方法は、目視検査とエアゲージによる実測の両方。また、タイヤの状態としては、ホットエアを含む。

2. 2012年（1-12月）路上タイヤ点検・車種別項目別結果

一般社団法人 日本自動車タイヤ協会

道路別	項目		点検車両 (A)	タイヤ整備 不良車両 (B)	不良率 (%) (B/A)	タイヤ整備不良の項目内訳												計
	車種No.	タイヤ溝不足				偏摩耗		外 傷 (コードに達するもの)		釘・異物踏み		空気圧不適正		その他				
		件 数				不良率	件 数	不良率	件 数	不良率	件 数	不良率	件 数	不良率	件 数	不良率		
高速道路	乗用車	普通乗合(2)	43	8	18.6	2	4.7	6	14.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	8
		普通乗用(3)	205	69	33.7	1	0.5	6	2.9	2	1.0	0	0.0	48	23.4	14	6.8	71
		小型乗用(5.7)	407	148	36.4	3	0.7	18	4.4	1	0.2	2	0.5	115	28.3	22	5.4	161
		軽(5.7)	79	33	41.8	0	0.0	12	15.2	0	0.0	0	0.0	13	16.5	11	13.9	36
		計	734	258	35.1	6	0.8	42	5.7	3	0.4	2	0.3	176	24.0	47	6.4	276
	貨物車	普通貨物(1)	51	15	29.4	7	13.7	7	13.7	1	2.0	1	2.0	0	0.0	0	0.0	16
		小型貨物(4)	66	12	18.2	0	0.0	3	4.5	0	0.0	1	1.5	7	10.6	2	3.0	13
		軽(4.6)	25	9	36.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	7	28.0	4	16.0	11
		計	142	36	25.4	7	4.9	10	7.0	1	0.7	2	1.4	14	9.9	6	4.2	40
	19回	特種(8)	6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
合計		882	294	33.3	13	1.5	52	5.9	4	0.5	4	0.5	190	21.5	53	6.0	316	
一般道路	乗用車	普通乗合(2)	2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
		普通乗用(3)	183	76	41.5	1	0.5	11	6.0	1	0.5	1	0.5	63	34.4	16	8.7	93
		小型乗用(5.7)	267	122	45.7	4	1.5	13	4.9	0	0.0	2	0.7	111	41.6	35	13.1	165
		軽(5.7)	163	89	54.6	2	1.2	10	6.1	0	0.0	0	0.0	85	52.1	26	16.0	123
		計	615	287	46.7	7	1.1	34	5.5	1	0.2	3	0.5	259	42.1	77	12.5	381
	貨物車	普通貨物(1)	119	21	17.6	7	5.9	8	6.7	2	1.7	0	0.0	0	0.0	6	5.0	23
		小型貨物(4)	75	8	10.7	2	2.7	5	6.7	1	1.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	8
		軽(4.6)	20	7	35.0	0	0.0	1	5.0	0	0.0	0	0.0	8	40.0	2	10.0	11
		計	214	36	16.8	9	4.2	14	6.5	3	1.4	0	0.0	8	3.7	8	3.7	42
	22回	特種(8)	36	6	16.7	2	5.6	3	8.3	0	0.0	0	0.0	1	2.8	1	2.8	7
合計		865	329	38.0	18	2.1	51	5.9	4	0.5	3	0.3	268	31.0	86	9.9	430	
合 計	乗用車	普通乗合(2)	45	8	17.8	2	4.4	6	13.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	8
		普通乗用(3)	388	145	37.4	2	0.5	17	4.4	3	0.8	1	0.3	111	28.6	30	7.7	164
		小型乗用(5.7)	674	270	40.1	7	1.0	31	4.6	1	0.1	4	0.6	226	33.5	57	8.5	326
		軽(5.7)	242	122	50.4	2	0.8	22	9.1	0	0.0	0	0.0	98	40.5	37	15.3	159
		計	1,349	545	40.4	13	1.0	76	5.6	4	0.3	5	0.4	435	32.2	124	9.2	657
	貨物車	普通貨物(1)	170	36	21.2	14	8.2	15	8.8	3	1.8	1	0.6	0	0.0	6	3.5	39
		小型貨物(4)	141	20	14.2	2	1.4	8	5.7	1	0.7	1	0.7	7	5.0	2	1.4	21
		軽(4.6)	45	16	35.6	0	0.0	1	2.2	0	0.0	0	0.0	15	33.3	6	13.3	22
		計	356	72	20.2	16	4.5	24	6.7	4	1.1	2	0.6	22	6.2	14	3.9	82
	41回	特種(8)	42	6	14.3	2	4.8	3	7.1	0	0.0	0	0.0	1	2.4	1	2.4	7
合計		1,747	623	35.7	31	1.8	103	5.9	8	0.5	7	0.4	458	26.2	139	8.0	746	

- 注) 1. 1台の車両で複数のタイヤ整備不良(項目)がある場合があり、タイヤ整備不良車両台数とタイヤ整備不良件数は必ずしも一致しない。
 2. 不良率: 「タイヤ整備不良車両台数又は不良項目件数」/「点検車両台数」×100
 3. 高速道路とは自動車専用道路を含む。
 4. 「空気圧不適正」の件数は、空気圧不足と空気圧過多の合計である。(内訳 空気圧不足: 375件 空気圧過多: 83件)
 5. 空気圧測定方法は、目視検査とエアゲージによる実測の両方。また、タイヤの状態としては、ホットエアーを含む。

3. 2011年、2012年（1-12月）路上タイヤ点検不良項目別結果比較

一般社団法人 日本自動車タイヤ協会

道路別	項目		タイヤ整備不良の項目内訳																				
	車種NO.	点検車両中の タイヤ整備不良	タイヤ溝不足			偏摩耗			外傷 (コードに達するもの)			釘・異物踏み			空気圧不適正			その他					
			11年	12年	増減	11年	12年	増減	11年	12年	増減	11年	12年	増減	11年	12年	増減	11年	12年	増減			
高速道路	乗用車	普通乗合(2)	17.9	18.6	0.7	5.1	4.7	-0.4	10.3	14.0	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	0.0	-2.6
		普通乗用(3)	14.0	33.7	19.7	1.6	0.5	-1.1	3.1	2.9	-0.2	0.8	1.0	0.2	0.0	0.0	0.0	4.7	23.4	18.7	6.2	6.8	0.6
		小型乗用(5.7)	26.7	36.4	9.7	1.6	0.7	-0.9	2.3	4.4	2.1	0.5	0.2	-0.3	0.3	0.5	0.2	19.7	28.3	8.6	4.1	5.4	1.3
		軽(5.7)	25.0	41.8	16.8	1.8	0.0	-1.8	3.6	15.2	11.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	16.5	2.2	16.1	13.9	-2.2
		計	23.3	35.1	11.8	1.8	0.8	-1.0	3.1	5.7	2.6	0.5	0.4	-0.1	0.2	0.3	0.1	14.8	24.0	9.2	5.6	6.4	0.8
	貨物車	普通貨物(1)	37.1	29.4	-7.7	24.3	13.7	-10.6	14.3	13.7	-0.6	0.0	2.0	2.0	0.0	2.0	2.0	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	-2.9
		小型貨物(4)	26.0	18.2	-7.8	1.4	0.0	-1.4	8.2	4.5	-3.7	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	1.5	8.2	10.6	2.4	8.2	3.0	-5.2
		軽(4.6)	29.6	36.0	6.4	3.7	0.0	-3.7	14.8	0.0	-14.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	28.0	16.9	7.4	16.0	8.6
		計	31.2	25.4	-5.8	11.2	4.9	-6.3	11.8	7.0	-4.8	0.0	0.7	0.7	0.0	1.4	1.4	5.3	9.9	4.6	5.9	4.2	-1.7
	特種(8)	18.8	0.0	-18.8	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	-12.5	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	-6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	24.9	33.3	8.4	3.8	1.5	-2.3	5.2	5.9	0.7	0.4	0.5	0.1	0.3	0.5	0.2	12.4	21.5	9.1	5.5	6.0	0.5		
一般道路	乗用車	普通乗合(2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		普通乗用(3)	33.2	41.5	8.3	1.5	0.5	-1.0	2.6	6.0	3.4	0.0	0.5	0.5	0.5	0.5	0.0	29.6	34.4	4.8	3.6	8.7	5.1
		小型乗用(5.7)	33.8	45.7	11.9	1.5	1.5	0.0	2.5	4.9	2.4	0.3	0.0	-0.3	0.3	0.7	0.4	30.8	41.6	10.8	5.0	13.1	8.1
		軽(5.7)	31.6	54.6	23.0	2.6	1.2	-1.4	0.5	6.1	5.6	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	-0.5	28.9	52.1	23.2	3.2	16.0	12.8
		計	33.1	46.7	13.6	1.8	1.1	-0.7	2.0	5.5	3.5	0.1	0.2	0.1	0.4	0.5	0.1	30.1	42.1	12.0	4.2	12.5	8.3
	貨物車	普通貨物(1)	17.4	17.6	0.2	15.2	5.9	-9.3	4.3	6.7	2.4	0.0	1.7	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	5.0	2.8
		小型貨物(4)	13.6	10.7	-2.9	0.0	2.7	2.7	7.6	6.7	-0.9	0.0	1.3	1.3	0.0	0.0	0.0	7.6	0.0	-7.6	1.5	0.0	-1.5
		軽(4.6)	15.0	35.0	20.0	2.5	0.0	-2.5	2.5	5.0	2.5	0.0	0.0	0.0	2.5	0.0	-2.5	12.5	40.0	27.5	5.0	10.0	5.0
		計	15.1	16.8	1.7	5.3	4.2	-1.1	5.3	6.5	1.2	0.0	1.4	1.4	0.7	0.0	-0.7	6.6	3.7	-2.9	2.6	3.7	1.1
	特種(8)	23.8	16.7	-7.1	4.8	5.6	0.8	14.3	8.3	-6.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8	2.8	-2.0	0.0	2.8	2.8	
合計	30.1	38.0	7.9	2.4	2.1	-0.3	2.8	5.9	3.1	0.1	0.5	0.4	0.4	0.3	-0.1	25.8	31.0	5.2	3.9	9.9	6.0		
合計	乗用車	普通乗合(2)	17.9	17.8	-0.1	5.1	4.4	-0.7	10.3	13.3	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	0.0	-2.6
		普通乗用(3)	25.5	37.4	11.9	1.5	0.5	-1.0	2.8	4.4	1.6	0.3	0.8	0.5	0.3	0.3	0.0	19.7	28.6	8.9	4.6	7.7	3.1
		小型乗用(5.7)	30.3	40.1	9.8	1.5	1.0	-0.5	2.4	4.6	2.2	0.4	0.1	-0.3	0.3	0.6	0.3	25.4	33.5	8.1	4.6	8.5	3.9
		軽(5.7)	30.1	50.4	20.3	2.4	0.8	-1.6	1.2	9.1	7.9	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	-0.4	25.6	40.5	14.9	6.1	15.3	9.2
		計	28.8	40.4	11.6	1.8	1.0	-0.8	2.5	5.6	3.1	0.3	0.3	0.0	0.3	0.4	0.1	23.4	32.2	8.8	4.8	9.2	4.4
	貨物車	普通貨物(1)	29.3	21.2	-8.1	20.7	8.2	-12.5	10.3	8.8	-1.5	0.0	1.8	1.8	0.0	0.6	0.6	0.0	0.0	0.0	2.6	3.5	0.9
		小型貨物(4)	20.1	14.2	-5.9	0.7	1.4	0.7	7.9	5.7	-2.2	0.0	0.7	0.7	0.0	0.7	0.7	7.9	5.0	-2.9	5.0	1.4	-3.6
		軽(4.6)	20.9	35.6	14.7	3.0	0.0	-3.0	7.5	2.2	-5.3	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0	-1.5	11.9	33.3	21.4	6.0	13.3	7.3
		計	23.6	20.2	-3.4	8.4	4.5	-3.9	8.7	6.7	-2.0	0.0	1.1	1.1	0.3	0.6	0.3	5.9	6.2	0.3	4.3	3.9	-0.4
	特種(8)	21.6	14.3	-7.3	2.7	4.8	2.1	13.5	7.1	-6.4	0.0	0.0	0.0	2.7	0.0	-2.7	2.7	2.4	-0.3	0.0	2.4	2.4	
合計	27.7	35.7	8.0	3.0	1.8	-1.2	3.9	5.9	2.0	0.2	0.5	0.3	0.3	0.4	0.1	19.7	26.2	6.5	4.6	8.0	3.4		

注) 1. 1台の車両で複数のタイヤ整備不良(項目)がある場合があり、タイヤ整備不良車両台数とタイヤ整備不良件数は必ずしも一致しない。

2. 不良率:「タイヤ整備不良車両台数又は不良項目件数」/「点検車両台数」×100

3. 高速道路とは自動車専用道路を含む。

4. 「空気圧不適正」の件数は、空気圧不足と空気圧過多の合計である。(内訳 空気圧不足:375件 空気圧過多:83件)

5. 空気圧測定方法は、目視検査とエアゲージによる実測の両方。また、タイヤの状態としては、ホットエアを含む。